



2025年5月9日

各 位

会 社 名 富士石油株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 重人
(コード：5017、東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 祖父江 高明
TEL：03 - 6277 - 2906
URL：https://www.foc.co.jp/

2025年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2025年2月7日に公表の2025年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績値の差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A） （2025年2月7日発表）	百万円 859,600	百万円 300	百万円 1,600	百万円 △700	円 銭 △9.07
今回発表実績（B）	840,196	△5,568	△3,894	△5,774	△74.79
増減額（B-A）	△19,404	△5,868	△5,494	△5,074	
増減率（％）	△2.26	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2024年3月期）	723,730	16,199	18,735	15,516	201.09

2. 差異の理由

前回の予想は、第4四半期平均でドバイ原油価格を75ドル/バレル、為替レートを150円/ドルの前提で策定しましたが、同期間の実績として、1月から2月にかけてドバイ原油価格は想定を上回って推移し、為替レートについても想定より円安に推移した一方、3月に入るとドバイ原油価格は大幅に下落し、為替レートについても円高が進行しました。

売上高は、販売数量の減少等により前回予想を194億円下回りました。損益については、上記状況から在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）による原価押し上げ要因が87億円（前回予想は31億円の原価押し上げ要因）と前回予想比で拡大したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を下回る結果となりました。

以 上